



2018年12月19日

## メタジェンとAI開発に関する共同研究を開始

～個々人の腸内環境タイプに合わせた生活習慣改善策を提案～

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、腸内環境を適切にデザインすることで健康長寿社会の実現を目指すバイオベンチャーである株式会社メタジェン（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO：福田 真嗣、以下「メタジェン」）と、腸内環境タイプに合わせた層別化ヘルスケア<sup>(\*1)</sup>を実現するため、腸内環境の評価および個々人のタイプに合わせた生活習慣改善策を提案するAI<sup>(\*2)</sup>の共同研究開発（以下「本共同研究開発」）を開始しました。<sup>(\*3)</sup>

\*1 個々人で異なる腸内環境を適切に分類し、それぞれに合った生活習慣の改善方法を提供すること。

\*2 Artificial Intelligence（人工知能）の略

\*3 本共同研究開発は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）による助成金交付事業「AI システム共同開発支援事業」（以下「当助成事業」）に採択されました。当助成事業は、多様なリアルデータを活用したAIシステムの開発や事業化を促進することを目的に、「ものづくり・ロボティクス分野」「バイオ・素材分野」「プラント・インフラ保安分野」「スマートライフ分野」において高度なAIシステムの開発、実証、事業化を促進するものです。

### 1. 背景

SOMPOヘルスサポートは、これまで長年にわたり、「こころと身体」の健康に資する「生活習慣病予防」や「メンタルヘルス」、「健康経営コンサルティング」などのヘルスケア事業を展開しており、最新の知見やデジタル技術活用への取組みを強化しています。近年の研究では、健康維持と腸内環境の密接な関わり、さらに腸内環境は個人ごとに異なることが明らかになってきています。

このような背景から、メタジェンの最先端の腸内環境解析技術、およびSOMPOヘルスサポートの生活習慣改善支援ノウハウを融合することで、腸内環境タイプに合わせて層別化した生活習慣改善支援サービスの開発を目的に共同研究を開始しました。

### 2. 共同研究の概要

本共同研究では、個人の健康診断結果や生活習慣等に、新たに腸内環境解析結果を加え、対象者に最も効果的と考えられる減量等の生活習慣改善策を予測するAIの開発を行います。

### 3. 今後の展開

本共同研究で開発するAIは、今後モデル事業等を通じて取得するデータによる再学習によって、予測の精度を上げていく予定です。

また、サービス提供開始後においても、再学習を行い予測精度の向上を継続的に図っていきます。

以上